

## 米国大学のデータサイエンス分野の産学連携プログラムに参画 ～ビッグデータ、AI分野の教授陣との連携を開始～

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、産学連携プログラムであるStanford Data Science Initiative<sup>※1</sup>(以下、SDSI)に参加しました。

SDSIは、2014年に設立され、データサイエンス、ビッグデータに関わるスタンフォード大学工学系研究科と企業との連携を支援します。参加企業はSDSIと共同研究プロジェクトの立ち上げ、訪問研究員の派遣、カンファレンスやワークショップの開催を通じて連携することができます。

ドコモのデータサイエンティストがSDSIに短期滞在し、ドコモの課題解決に向けてアドバイスを得ながらデータ分析に取り組みます。また、双方で興味のあるプロジェクトについては学生も参加する共同研究プロジェクトとして立ち上げます。SDSIと共同で取り組むテーマとして、お客さまから利用許諾を得たサービスのWEBとリアルな行動データを活用した行動予測技術、お客さまに必要とされる情報の選別を行うレコメンデーション技術、ビジネスオペレーションを最適化する技術(強化学習)などを予定しています。

ドコモは、2018年5月から、携帯電話の契約者に代わりdポイントクラブの会員基盤を軸とした事業運営を推進した<sup>※2</sup>デジタルマーケティングにより、お客さまへの価値提供を強化しております。今後も最先端のデジタルマーケティングの強化を通じて、新しい価値や感動を提供し続けられる企業をめざし、取り組んでまいります。

※1 Stanford Data Science Initiative(<https://sdsi.stanford.edu/>)

※2 dポイントクラブの会員基盤を軸とした事業運営については、2018年4月17日(火)の報道発表(下記URL)をご参照ください。  
[https://www.nttdocomo.co.jp/info/news\\_release/2018/04/17\\_00.html](https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/2018/04/17_00.html)

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社NTTドコモ  
サービスイノベーション部 第2サービス開発担当  
TEL: 03-5156-2289